

総務省 松下総務副大臣が視察にいらっしゃいました

平成 27 年 12 月 11 日、松下総務副大臣は、東北地域の復興の現状を把握するため宮城県石巻市に出張し、被災地域の状況及び総務省 ICT 関係復興事業を視察するとともに、現地医療関係者、石巻市職員と懇談されました。

MMWIN 関連の視察では、石巻市立病院開成仮診療所にて、やもと内科クリニックとの遠隔カンファレンスの模様を含めたシステム活用の様子を視察いただきました。

出典：総務省ホームページ
(http://www.soumu.go.jp/photo_gallery/02koho03_03001319.html)



東北地域医療情報連携基盤構築事業の説明を受ける松下総務副大臣

宮城県議会の会議録に詳細が掲載されました

MMWIN 通信 9 月号にてお知らせした、第 353 回宮城県議会（平成 27 年 9 月定例会）にて、MMWIN についての質問と回答を頂いた件ですが、宮城県議会の会議録にて、詳細が掲載されております。P.88 の中盤をご覧ください。(URL : http://www.kaigiroku.net/kensaku/pref_miyagi/pref_miyagi.html)

訪問記録

ユーザーズミーティングや施設訪問の記録です。
※全ての施設ではなく、抜粋して掲載しています。

- 11/27 東北労災病院様 ……院内の運用に付いて話し合いを行いました。運用に付いては医事課及び連携室で進め、医事課・連携室の職員の啓蒙のため、説明会の実施や、医師の協力を得るため、医局説明会も実施して欲しいとのことでした。
- 11/30 仙台医療センター様 ……3F 大会議室にて地域医療連携セミナーを開催。MMWIN システムについて、利用者登録、患者登録を推進することを中心に説明を行いました。(参加者は、Dr・看護師・事務職員・近隣調剤薬局職員を含め約 60 名)
- 12/1 東北公済病院様 ……地域連携センター室長、連携係長、企画課長、情報課へ運用の説明をおこなった。職員研修会と医局会での MMWIN の説明依頼を受けました。
- 12/7 ヤマザワ薬局 宮城野原店様 ……現地調査を兼ねて訪問を行いました。先日の医療センターで開催した地域医療連携セミナーにも出席しており、連携を進めたいとのことでした。

その他、入会案内や、入会希望先施設へ精力的に訪問を行っております！！



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-8633 仙台市青葉区大手町 1-5 宮城県医師会館 6 階 URL : <http://mmwin.or.jp>
サポートセンター TEL : 022-399-6880 サポートセンター E-mail : support@mmwin.or.jp
事務局 TEL : 022-395-6312 FAX : 022-395-6313 E-mail : office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



MMWIN 理事長より新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会（MMWIN）の運営につきましては、皆様に常日頃御支援、御協力をいただいておりますこと、厚く感謝申し上げます。本法人も、平成 24 年 6 月に発足以来、今年で 4 年目を迎え、現在、大規模病院をはじめ、診療所、調剤薬局、介護老人施設など、465 の参加施設をネットワークで結んで情報の共有化を図っております。また、データバックアップ数は述べ 300 万人を超え、加入患者数も東北大学病院などの協力もいただいて、1 万人を超え、日常の現場での情報連携に役立つ場面が増えてきております。

情報のバックアップにつきましては、アップローダー構築済みの大規模病院 16 施設に加え、本年度、新たに 14 施設の大規模病院において構築を行っており、災害時の医療介護情報の消失防止への備えが進んでいます。

さらに、今年度から主として参加加入率の低い診療所を中心に参加加入促進を行っており、さらなるネットワークの充実を図って行きたいと考えておりますので、皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

なお、昨年 12 月 21 日に大手町の宮城県医師会館 6 階に事務所を移転して業務を行っておりますのでよろしくお願いいたします。



公益社団法人宮城県医師会 会長 嘉数 研二

宮城県医師会館の建替え工事完了に伴う移転のお知らせ

宮城県医師会館の建替え工事のため、一時移転しておりましたが、工事完了に伴い、新医師会館において営業を開始する運びとなりましたのでご案内申し上げます。※移転に伴う電話番号・FAX 番号の変更はありません。

【新住所】〒980-8633
仙台市青葉区大手町 1-5 宮城県医師会館 6 階

【アクセス】
地下鉄『大町西公園駅』西 1 出口よりすぐ
『仙台駅』より徒歩 20 分 (1.7km)

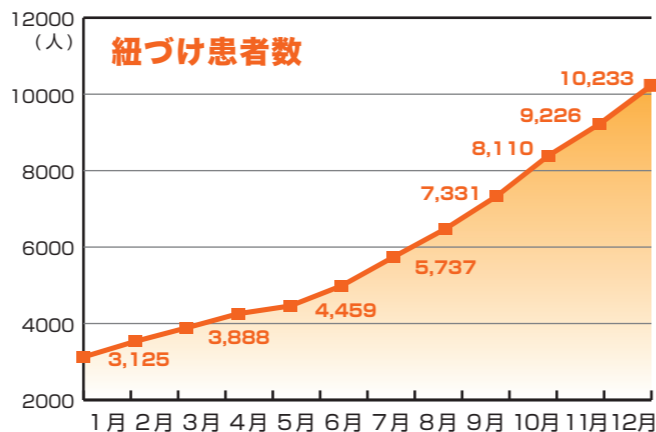
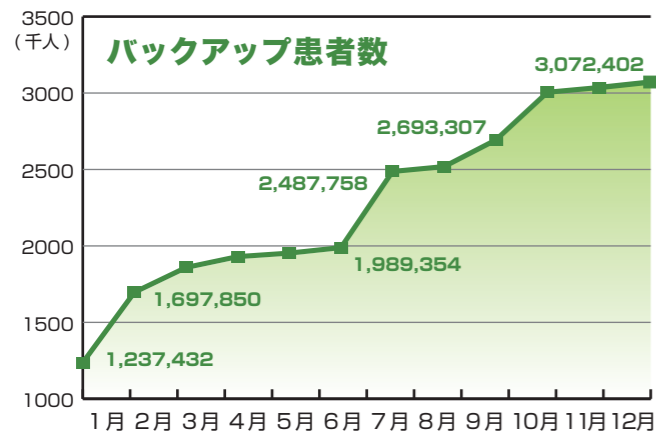
何卒今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





MMWINの事業推進体制が刷新され、 宮城県と二人三脚で進めています

昨年、事業推進会議が立ち上がってから、MMWINの体制は大きく変わり、県とも強固な協力体制をとって進めております。その成果が出始めており、データバックアップが延べ300万人分超、紐付け患者数1万人超となり、実際の情報連携事例も増えつつあります。



県内33病院のデータバックアップ体制が確立します

2016年3月に、以下の33病院のデータバックアップ体制が確立すると、県内病院の一般病床の約60%の患者データがバックアップされることとなります。貴重なデータが災害から守られるとともに、日常臨床や介護現場における情報連携に活用できる体制となります。

バックアップ構築済み病院 (19病院)

- 東北大学病院 ● 仙台医療センター
- NTT 東北病院 ● 仙台厚生病院 ● 仙台赤十字病院 ● 気仙沼市立病院 ● 公立志津川病院
- 石巻赤十字病院 ● 栗原市立栗原中央病院 ● 国民健康保険川崎病院 ● 気仙沼市立本吉病院
- みやぎ県南中核病院 ● 金上病院 ● 坂総合病院 ● 公立刈田総合病院 ● 大崎市民病院
- 大崎市民病院鳴子温泉分院 ● 大崎市民病院鹿島台分院 ● 大崎市民病院岩出山分院

今年度構築予定病院 (14病院)

- 東北労災病院 ● 東北薬科大学病院 ● JCHO 仙台病院 ● 宮城県立がんセンター
- 宮城県立こども病院 ● 仙台オープン病院 ● 東北公済病院 ● 総合南東北病院 ● 中嶋病院
- 公立黒川病院 ● 仙塩総合病院 ● 仙塩利府病院 ● 赤石病院 ● 登米市立登米市民病院

参加施設の皆さま：情報参照で、日常臨床のお役に！

☑ 災害に強い自院の診療データのバックアップができます

病院：SS-MIX2への全件アップローダを構築した場合、診療所：電子カルテにSS-MIX2アップローダがある場合

- ・SS-MIX2標準化バックアップは電カルのバックアップとは異なり災害に強い
- ・電カルを使用していない施設でも紙データのPDF化などをアップロード可能

☑ 他の参加施設のバックアップデータを参照・情報共有できます

- ・長い病歴を繰り返し聴取する手間が軽減
- ・メモ機能で書類のPDF共有、メール機能で気軽な連絡
- ・電カル使用の有無を問わずMMWIN参照端末があれば可
- ・患者が通院する参加施設の病歴、検査、処方などを参照
- ・紹介状の簡略化等、紹介・逆紹介する労力を軽減可能
⇒他施設が紹介しやすくなる

☑ 患者さんからみたメリット

- ・長い病歴を繰り返し説明する手間が軽減
- ・かかりつけ診療所などと密接に情報共有していることに対する安心感 (病院)
- ・基幹病院と密接に情報共有していることに対する安心感 ⇒ かかりつけとして選択しやすくなる (診療所)



未参加施設の皆さま：MMWINに是非ご参加を！

- ・欧米各国では、数千億から数兆円を投資して国策としての医療情報ネットワーク構築を行っています。
- ・医療の進歩と膨大する医療費に対処するのに必須であるためです。
- ・日本では、地域ごとのネットワーク構築が主体です。中でも最大規模のMMWINが根付くことで、宮城県はもちろん、全国の医療に大きなインパクトがあります。
- ・参加施設は日常診療において、他院データの参照が可能、紹介状簡略化などのメリットがあります。
- ・是非、多くのご施設の参加と、システムの利活用をお願いいたします。

MMWIN・宮城県・医師会・薬剤師会・看護協会・歯科医師会・老健協議会・東北大学病院・企業

一致協力体制

- ① 透明で確実な運営
- ② 参加施設が使えるシステム
- ③ 参加施設へのサポート
- ④ 中長期計画⇒自立運営

病院・診療所・保険薬局・介護施設・訪問看護STなど

参加施設

- ・実臨床での利活用促進
- ① 施設内運用体制整備
- ② 患者加入促進フローの確立
- ③ 積極的なシステム利活用

未参加施設

- ・新たな参加を募る
- ① 多数の参加は本事業の本質
- ② 初期投資補助
- ③ 事務局のサポート



全県域で使える情報連携システムの継続運用

2016年もよろしくお願ひ申し上げます